

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	鳥獣保護管理強化総合対策事業		担当部局庁	自然環境局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～平成28年度		担当課室	国立公園課 鳥獣保護業務室			課長 桂川 裕樹 室長 秀田 智彦	
会計区分	一般会計		政策・施策名	5 生物多様性の保全と自然との共生の推進 5-2 自然環境の保全・再生 5-3 野生生物の保護管理				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	鳥獣保護法第6条、第78条の2 自然公園法第2条第7号、第3条第2項、 第38条～第42条		関係する計画、 通知等	鳥獣の保護を図るための事業を実施するための基本的な指針 生物多様性国家戦略2012-2020 鳥インフルエンザ緊急総合対策について 知床・阿寒・尾瀬・南アルプス・霧島・屋久島生態系維持回復事業計画 国立公園における生態系維持回復事業取扱要領について				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	鳥インフルエンザ等の感染症に係る危機管理体制の飛躍的な充実を図るとともに、シカやイノシシ等の被害対策や担い手の確保、国立公園内外のシカ対策の促進等の総合的実施を通じて、人と野生動物の関係が大きく改善し、適切な鳥獣保護管理と地域の活力の回復を図る。また、これにより人と鳥獣が安心して適切に共生できる「豊かなふるさとづくり」に資することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	上記について以下の通り実施。 ①鳥インフルエンザ等の感染症が国内で発生した際に、適時適切に死体の検査や現地調査等、必要な取組を行う。 ②鳥獣の保護管理を強化するため、担い手となる人材の育成、地域ぐるみでの捕獲のモデル地域づくり等の取組を総合的に行う。 ③我が国の生物多様性保全上、核心的な地域である国立公園でシカによる深刻な生態系被害を受けている地域において、国立公園の貴重な自然環境の保全を図るとともに、国立公園周辺地域への被害の拡大防止を図るため必要な事業を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	386	516	533	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
	計		-	-	386	516	533	
	執行額		-	-	267	-	-	
執行率(%)		-	-	69%	-	-		
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	野生鳥獣の適正な保護管理及び国立公園の生態系の維持、回復を目的としており、これらを定量的に数字で評価することは困難。			成果実績	-	-	-	-
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	【狩猟免許取得フォーラム】 セミナー実施箇所			活動実績 (当初見込み)	-	-	8箇所	- (8箇所) (9箇所)
	【地域ぐるみの捕獲モデル地域づくり】 捕獲モデル地域			活動実績 (当初見込み)	-	-	13地域	- (13地域) (13地域)
	【国立公園等シカ管理対策事業費】 シカ管理対策事業実施箇所			活動実績 (当初見込み)	-	-	2箇所	- (1箇所) (14地域)
単位当たり コスト	【狩猟免許取得フォーラム】 3,125(千円/箇所数) 【地域ぐるみの捕獲モデル地域づくり】 3,025(千円/箇所数) 【国立公園等シカ管理対策事業費】 15,806(千円/箇所数)			算出根拠	事業費/事業実施箇所数 【狩猟免許取得フォーラム】 25,000千円/8 【地域ぐるみの捕獲モデル地域づくり】 39,327千円/13 【国立公園等シカ管理対策事業費】 31,612千円/2			
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	鳥獣等感染症調査費	60	60	希少鳥獣(ゼニガタアザラシ)による農林水産業等への被害対策事業、拡大するシカ被害対策に係る増額。				
	職員旅費	1	2					
	環境保全調査費	447	463					
	土地建物借料	8	8					
計	516	533						

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	鳥インフルエンザ等の感染症が発生した際の迅速かつ適切な対応は、国民の安全・安心を確保し、鳥獣と安心して共生する上で必要不可欠である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	シカ・イノシシによる生態系、農林業及び生活環境への被害は増加を続けており、捕獲の担い手の確保や鳥獣の捕獲を強化することは、鳥獣と適切に共生する上で必要不可欠である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	シカによる国立公園の生態系被害の軽減、収束は、国民が利用する国立公園の景観保全や生物多様性保全の観点から重要であり、一刻も早く生態系の維持回復に向けた取組を行う必要がある。これらの業務は、環境省の所管であり、国が自ら実施すべきものである。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	契約については可能な限り競争性のある契約方法を採用している。経費は、適切な鳥獣保護管理を推進するための調査費や資料整理等の人件費、物品購入費など、不可欠な用途のみに充てられている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	また、事業実施にあたっては適正な執行がなされるよう執行状況、使途の把握に努めている。具体的には、請負事業者と密に連絡を取りつつ、進捗状況を把握し、管理しているほか、随時事業実施に必要なアドバイスをを行っている。	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	なお、平成24年度は鳥インフルエンザ等の発生がなく、発生時に適切な検査や現地調査等を行うための予算(60千円)の執行を要しなかったこと等から、不要率が比較的大きくなった。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	過年度の事業成果は速やかに都道府県等へフィードバックを行うこと、ホームページ等により普及啓発を行うなどにより、各地域への成果の還元や事業の実効性確保に努めている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	農林水産省で実施されている類似事業は、専ら鳥獣被害防止対策に特化したものであり、人材育成や特定計画の作成支援、広域鳥獣保護管理など、鳥獣保護管理の推進に係る環境省の事業と明確に役割分担されている。	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
		鳥獣被害防止総合対策交付金	農林水産省		
点検結果	近年、我が国において、鳥インフルエンザ等の感染症が野鳥で発生したり、生息地を拡大した鳥獣による生態系被害や農林水産業被害、更には人身被害が大量に発生しており、深刻な問題となっている。こうした状況を踏まえ、平成23年9月に鳥獣保護法に基づく「鳥獣の保護を図るための事業を実施するための基本的な指針」を改訂し、地域ぐるみの取組等、鳥獣保護管理の担い手対策の推進を含めた各種取組の強化や自然公園法に基づく生態系維持回復事業に基づくシカの個体数管理など、これらの取組を総合的に推進している。鳥獣保護管理の抜本的な強化及び総合的な推進のため、平成23年度までの事業手法等の見直しを行った上で、平成24年度から新規事業として効率的、効果的な事業の執行に努めている。				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	引き続き効率的な執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
縮減	希少鳥獣(ゼニガタアザラシ)による農林水産業等への被害対策事業、拡大するシカ被害対策に増額要求を行うものの、精査の上、一部予算を縮減し、必要最小限の要求額とした。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	—	平成23年	新24-028	平成24年	新24-007

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 しているかにつ
 て補足する)
 (単位:百万
 円)



費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(一財)自然環境研究センター			F.(株)野生動物保護管理事務所		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
人件費	業務の企画運営	52	人件費	業務の企画運営	1.2
外注費	高度な捕獲技術等の開発・実証に係る業務	17	その他	諸謝金、旅費、印刷製本費、賃金、通信運搬費、消耗品費、一般管理費、消費税	1.3
旅費	検討会委員旅費等	13			
一般管理費		10			
消費税		5			
諸謝金	検討会委員謝金等	3			
会議費	検討会の会場費等	3			
借料及び損料	現地調査に係るレンタカー等	1			
印刷製本費	会議資料、報告書等	1			
その他	消耗品、賃金、通信運搬費	1			
計		106	計		2.5
B.NPO法人バードリサーチ			G.NPO法人バードリサーチ		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。				
計			計		
C.NPO法人北の海の動物センター			H.NPO法人四国自然史科学研究センター		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
			人件費	業務の企画運営	1
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。		その他	印刷製本費、借料及び損料、賃金、消耗品費、一般管理費、消費税	1
計			計		2
D.(公財)知床財団			I.(公財)日本野鳥の会		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
			人件費		1.9
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。		旅費	検討会、現地調査、ヒアリング	0.6
			諸謝金		0.5
			一般管理費		0.4
			印刷製本費		0.3
			外注費		0.2
			その他		0.1
計			計		4.0
E.(株)野生動物保護管理事務所			J.出水干拓東土地改良区		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
人件費	業務の企画運営	2.5	借料及び損料	ツル休遊地の土地借上	8
消耗品費	現地調査消耗品一式	1.5			
その他	諸謝金、旅費、印刷製本費、一般管理費、消費税	2.0			
計		6	計		8

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一財)自然環境研究センター	平成24年度鳥獣保護管理強化のための先進技術等調査・検討業務	34	企画競争	—
	(一財)自然環境研究センター	平成24年度鳥獣保護管理に係る人材育成・活用業務	23	1	75%
	(一財)自然環境研究センター	平成24年度特定鳥獣に係る保護管理施策推進のための検討調査業務	23	1	89%
	(一財)自然環境研究センター	野生鳥獣保護管理情報システム運用事業	9	1	95%
	(一財)自然環境研究センター	平成24年度福島県における野生鳥獣の生息状況等に関する調査業務	7	1	85%
	(一財)自然環境研究センター	平成24年度狩猟鳥獣のモニタリングのあり方に係る検討調査業務	5	1	96%
	(一財)自然環境研究センター	平成24年度地域ぐるみの捕獲推進モデル事業中央委員会運営業務	5	3	85%
2	(株)環境アセスメントセンター	平成24年度鳥獣保護管理の担い手確保促進フォーラム(仮称)開催業務	25	企画競争	—
3	(株)野生動物保護管理事務所	平成24年度ツキノワグマ広域保護管理の推進に係る状況把握及び検討調査業務	8	1	100%
4	NPO法人バードリサーチ	平成24年度カワウ広域保護管理に係る情報収集・分析及び課題整理等推進業務	4	2	88%
5	(公財)山階鳥類研究所	平成24年度鳥類識別(メジロ)マニュアル更新作成版作成業務	2	1	84%
6	富士平工業(株)	輸入鳥類脚輪作成業務	1	随意契約	—
7	日本野鳥の会	平成24年度ツル類の分散化検討業務	1	少額随契	—
8	(公財)日本鳥類保護連盟	平成24年度狩猟鳥類の生息状況等の把握に関する情報整理業務	1	少額随契	—
9	サージミヤワキ(株)	クマ類目印票(製品タグ)	1	少額随契	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人バードリサーチ	カワウの保護管理に係る調査検討等	6	随意契約	—
	NPO法人バードリサーチ	カワウの保護管理に係る研修会の開催等	5	随意契約	—
2	(公財)知床財団	高度な捕獲技術等の開発・実証等	3	随意契約	—
3	富士通エフ・アイ・ビー	野生鳥獣保護管理情報システムのプログラム改修等	3	随意契約	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	特定非営利法人北の海の動物センター	えりも地域ゼニガタアザラン調査業務	8.3	参加者確認公募	—
	特定非営利法人北の海の動物センター	ゼニガタアザラン保護管理検討会等開催業務	2.6	1	56%
2	(株)木島商店日高営業所	ゼニガタアザラン捕獲用網資材一式	0.4	少額随契	—
3	(株)グリーンウッド	ゼニガタアザラン調査捕獲業務 ロープ杭、掛矢	0.07	少額随契	—

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人知床財団	知床国立公園エゾシカ密度操作実験実施業務	21	1	83%
2	公益財団法人知床財団	知床岬地区エゾシカ個体数調整業務	6	1	95%
3	公益財団法人知床財団	秋期における知床国立公園エゾシカ捕獲手法検討業務	2	1	73%
4	一般財団法人前田一歩園財団	阿寒国立公園エゾシカ捕獲及び捕獲手法検討業務	0.98	少額随契	—
5	一般財団法人自然公園財団阿寒湖支部	阿寒国立公園エゾシカ樹皮剥ぎ防止用防護ネット設置業務	0.8	少額随契	—
6	北海レンダリング協同組合	エゾシカ死体処理	0.41	少額随契	—
7	株式会社須田製版	第2期知床半島エゾシカ保護管理計画50部印刷	0.06	少額随契	—
8	株式会社ハリーマルテプリント	知床国立公園エゾシカ対策大型ポスター作成	0.05	少額随契	—
9	斜里建設工業株式会社	除雪作業	0.05	少額随契	—

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)野生生物保護管理事務所	平成24年度関東山地ニホンジカの広域保護管理検討調査業務	6.3	2	90%

F

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)野生生物保護管理事務所	平成24年度紀伊長島鳥獣保護区カワウ保護管理対策業務	2.5	1	98%

G

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人バードリサーチ	平成24年度中部近畿カワウ広域協議会開催運営業務	0.7	少額随契	-

H

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(NPO)四国自然科学研究センター	平成24年度国指定剣山山系鳥獣保護区におけるニホンジカ対策調査	2	4	99%

I

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公財)日本野鳥の会	平成24年度国指定出水・高尾野鳥獣保護区におけるツル類の高病原性鳥インフルエンザ及び分散化対策事業	4	随意契約	-
2	鹿児島県ツル保護会	平成24年度ツル類の捕獲手法検討業務	0.6	少額随契	-
3	(株)ハタノ	消耗品の購入	0.3	少額随契	-
	(株)ハタノ	消耗品の購入	0.3	少額随契	-
4	正晃(株)	鳥インフルエンザ検査用具等の購入	0.2	少額随契	-
	正晃(株)	鳥インフルエンザ検査用具等の購入	0.1	少額随契	-
	正晃(株)	鳥インフルエンザ検査用具等の購入	0.1	少額随契	-
5	(財)日本森林業振興会熊本支部	鳥獣保護区標柱の作成業務	0.2	少額随契	-
6	(株)ニコンインステック	フィールドスコープ等の購入	0.2	少額随契	-
7	(株)城野印刷所	パンフレットの印刷	0.2	少額随契	-

J

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出水干拓東土地改良区	ツル休遊地の土地借上料	8	随意契約	-
2	大町地区協議会	地域ぐるみの捕獲推進モデル事業	4	随意契約	-
3	五ヶ瀬地区協議会	地域ぐるみの捕獲推進モデル事業	4	随意契約	-
4	南アルプス市榊形地区鳥獣被害対策協議会	地域ぐるみの捕獲推進モデル事業	4	随意契約	-
5	富士宮市地区協議会	地域ぐるみの捕獲推進モデル事業	4	随意契約	-
6	米原地区協議会	地域ぐるみの捕獲推進モデル事業	4	随意契約	-
7	遠野地区協議会	地域ぐるみの捕獲推進モデル事業	3	随意契約	-
8	香美市有害鳥獣被害対策協議会	地域ぐるみの捕獲推進モデル事業	3	随意契約	-
9	萩地区協議会	地域ぐるみの捕獲推進モデル事業	3	随意契約	-
10	新城地区協議会	地域ぐるみの捕獲推進モデル事業	3	随意契約	-